

2月の衛研検査情報

～トピックス～

年末食品一斉収去検査

年末食品等一斉点検は厚生労働省からの「平成27年度食品、添加物等の年末一斉取締りの実施について」に基づき、食品流通量が増加する年末および食中毒患者が最も発生する冬季における食中毒の発生防止を図るとともに、積極的に食品の衛生確保を図るため、全国一斉に実施しています。

本市では平成27年11月4日から12月28日までを年末取締り期間と定め、一斉点検を行いました。そのうち、食品専門監視班と福祉保健センターによる収去により搬入された検体について、当所が行った細菌検査と食品添加物検査について報告します。

主な結果 細菌検査は、魚介類加工品、食肉製品、乳製品、菓子類、そうざいなど、106検体268項目について実施しました。その結果、規格基準違反はなく、衛生規範不適が4検体ありました。

食品添加物検査は、肉卵類およびその加工品、野菜類・果実およびその加工品、菓子類、酒精飲料、かん詰・びん詰食品などを重点に、184検体2,469項目について実施しました。その結果、いずれも食品衛生法に適合していました。

魚介類中のPCB検査

平成27年6月と9月に中央卸売市場で収去した市内に流通する魚介類10種10検体について、PCBの検査を行いました。

主な結果 全ての検体で、PCBは検出されませんでした。また、本編ではPCB分析に使用する装置や手順について紹介しています。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成28年1月は、インフルエンザ流行情報、エンテロウイルス、ノロウイルスによる感染性胃腸炎など、感染症に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は145,155件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。